

田尻だより

平成 30 年

6月 号

Vol. 1

次回の田尻だよりは
7月発行予定です。

担当：小野寺 佳奈

皆さんこんにちは。

いつも私たちのお米を
ご愛用下さいまして、
ありがとうございます。

さてこの度から、いつ
もお世話になっている
皆さんに、田尻便りを
お届けすることになり
ました。まずは初回と
いうことで、大崎市田
尻についてご紹介いた
します。



大崎市のゆるキャラ
“パタ崎さん”

〔大崎市田尻の地形〕

大崎市田尻は、仙台
から北に車で約1時間
ほどの場所にあります。
東に北上山地、西に奥
羽山脈といった大きな
山に囲まれた、大崎平
野のほぼ中央の町です。
そのため、大崎市田尻
には奥羽山脈から田尻
川、江合川と、大きな
川が流れ込んできます。
豊富で清涼な水と、
肥沃な土壌を川が運ん
でくれたため、昔から
大崎市田尻は良質米の

産地とされてきました。
町内は、広々とした
田んぼが延々と続き、
町の東部にある加護坊
山からは、四季折々の
田園風景やラムサール
条約に登録された蕪栗
沼が一望できます。



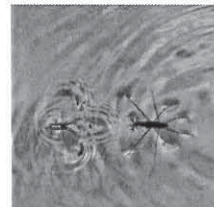
米 暦～こめごよみ～

- 5月3日～ 代掻き
- 5月13日 (田に水を入れ、表面の土を柔らかくして田面を均平にすること。)
- 5月9日～ 田植え
- 5月16日
- 5月26日 関東からの田植え体験を実施

『カエル』



『あめんぼ』



〔生き物〕
大崎市田尻でみられる
生き物です。

『タニシ』

